



下島小だより

5月号

校長

山口 仁志

令和4年度 下島小学校 学校教育目標

「自ら学び、心豊かに国際社会をたくましく生きる子ども」

めざす子ども像

「元気で明るい子」

- ・元氣よく進んで挨拶をする。
- ・健やかな心を持ち、体を鍛える。
- ・自分の思いをのびのびと表現する。

「力を合わせてがんばる子」

- ・なかよく助け合い、伝え合う。
- ・根氣よく最後までやりとげる。
- ・差別やいじめをしない、許さない。

「よく学び進んで実行する子」

- ・自らよく考え学習する。
- ・進んで仕事をする。
- ・正しく判断し、行動する。



上記が、今年度の下島小学校 学校教育目標です。「めざす子ども像」を教職員一同共有し、日々の教育活動に取り組んでまいります。

教職員は、上記の9項目を大切にしながら日々子どもたちと学級運営に当たりますが、子どもたちにまずはひとつだけ絶対がんばってほしいこと、できるようになってほしいこと、それが「あいさつ」です。入学式、始業式、そして先日の全校集会でも「あいさつ」についてのお話をさせていただきました。子どもたちが大きくなって、夢をかねるために、いろいろなところで力を発揮してもらいたい、いろいろな人とつながってもらいたい、その入り口にあるのが「あいさつ」だと思います。いつでも、どこでも（もしかしたら日本ではないかも）だれとでも、つながっていくカギとしての「あいさつ」。ぜひ自分からあいさつができる下島っ子になってほしいと願っています。

家庭訪問がはじまりました！

昨日より家庭訪問が始まりました。家庭訪問では担任より学校でのお子さんの様子をお話させていただきます。保護者の皆様には、お子さんのご家庭での様子などをお話いただければと思います。保護者の皆様におかれましては、お時間を調整いただき、ありがとうございます。短時間の訪問ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



地震・火災避難訓練を行いました

4月26日(火)、2時間目の終わりに地震とそれに伴う火災発生に対する避難訓練を行いました。ちょうど前日(25日)の給食中に地震が起こり、職員室の教職員で分担して、急いで子どもたちの様子を確認するために各教室に走りました。私は3階の高学年を見に行きましたが、教室では、子どもたちは全くしゃべらず、担任の指示のもと机の下で身を守る行動をとっていました。その時の子どもたちの身を守る行動、態度はとてもよくできていました。

それを受けての避難訓練でしたが、ほとんどの児童は、頭を守りながら静かに運動場に整列し、避難を完了しました。子どもたちには、いつ何時、地震が起こるかわからないこと、訓練の大切さを話し、次回の避難訓練でも今日出てきた課題を忘れないよう伝えました。地震など災害への備えは誰にとっても大切なことです。ぜひご家庭でも非常時にはどうするかについて、お子さんとお話ししていただければと思います。



お知らせ

●健康診断時の脱衣を伴う検査について

今後予定されている内科検診では、成長発達の過程にある児童の脊柱・胸郭・四肢・骨・関節も検査対象です。注意すべき疾患として「脊柱側弯症」があり、この疾患の8割が思春期に差し掛かるところに発症し、女児の発症率が高い特徴もあります。この疾患の早期の発見のため、市医師会からの通知により、上衣脱衣の状態での診察することを原則といたします。

健康診断では、児童の心情への配慮と、正確な検査・診察を可能にするために、学校医と緊密に連携を図り、児童のプライバシーの保護や男女差等への配慮を行って実施していきます。例えば、脱衣を伴う検査においては、診察や検査などに支障のない範囲で、衝立(囲い)やカーテン等で個別の診察スペースを確保し、学年で男女別に実施するなど環境整備および発達段階を踏まえた配慮を行ってまいります。保護者の皆様のご理解のほど、どうぞよろしくお願い致します。

●いじめ防止基本方針について

下島小学校では、児童の間でいじめ事案が発生した場合、本校で定めた「いじめ防止基本方針」にしたがって対応を行い、見守りを続けています。下島小学校のHPに詳細を記載しておりますので、どうぞご覧ください。